

学校長通信 No.15

平成 27 年度 第 1 学期始業式式辞 夢をさがす

みなさん、新学期を迎えおめでとうございます。

新たなスタートに臨んで、ひとつお話しておきたいと思います。それは、日根野高校の基本メッセージ「夢をかたちに」についてです。ここにいるみんながそれぞれの夢や目標を持って、期待と不安の両方をもって今ここに立っていると思います。はっきりした夢や目標が定まって、あとはやるだけ。と思っている人もいでしょうし、まだこれからという人もいでしょうし、それについては、3 学期の終業式の時にお話ししたと思いますので、今日はその続きを考えてみたいと思います。

みなさんにひとつ質問をします。夢って位置的にどのへんにあるもんだと思いますか。質問の意味がわかりにくいかもしれませんが、もし夢や希望が物理的な形をもった物体だとしたら、身の回りの空間的に言ってどのへんに存在するかという質問です。夢をつかむ、というような言い方が普通にありますので、多分、右ななめ前方の上方 2m あたりにあって、そのままでは手が届かないけれど、ちょっとジャンプしたら届きそうになるぐらいの位置、つまり、今のままでは届かないけど、少しがんばれば何とか手が届くような、斜め上の空間に漂ってるように思いませんか。私も長い間そんな感じに思ってきました。でも、最近はやっと違うかも・・・と思っています。では、どのへんにあるのでしょうか。

私が経験してきた夢の実現、目標の達成というのは、努力に努力を重ねてジャンプ力をアップさせて飛びあがってなんとか掴み取った、勝ち取ったというような感じではなかったように思います。と言って、何もしなくても手を伸ばせばそこにあつてすぐ触れる、というのでは変ですし、さてどこにあるのでしょうか。私の答えは、足元です。夢は自分の足元にある感じですが。ただし、そのへんに無造作にころがっているのではなく、地中に埋まっていて、どこにあるのか分かりにくい。簡単には見つからない。そんなイメージです。ダイヤモンド原石を探すようなもんです。確かに自分のすぐ足元にあるんだけど、なかなか見つからない。絶対に見つかるはずだけど、なかなか手ごわい。高性能の地中探知機でもあればいいのですが、そうそう上手くはいきません。じゃあどうするかというと、地道に掘るしかないでしょ。何度も何度も掘っては埋め戻し、掘っては埋め戻し。さらに深く掘りなおしたり、横穴掘ったり。まあ、手間暇かかること。夢や目標を実現する過程は、そんな例え方のほうが正しいような気がします。高い空間にフワフワ浮いていて、

下手するとどこかへ逃げていったり、消えてしまったりするものでなく、また天性のバネのある身体能力がないと獲得できないものではなく、誰でもしっかりと自分の足元を見つめて、あきらめずに毎日地道に丹念に探していけば、いつか必ず見つかるもののように思います。簡単ではないけど、そこに確実にあって泡のように消え去ることもない。だって地中のどこかに埋まっているから。夢や目標とは、そんなもののように思います。

後は、「自分にとって、我慢強く地面を掘り続けることって、いったい何をすることなんだろうか。」これを具体的に考えてみてください。なにを選択するかは人によって違うと思いますが、共通するポイントは「目標設定と確認」。この繰り返しです。ダイエットでも成功する人は、まず目標体重を決めて、まめに体重計に乗る人だけです。スポーツで試合に勝つのも、目標の大会をはっきりと決めて、練習と練習試合を繰り返す人です。勉強も同じことで、上手いく人は目標がしっかりあって、こつこつ勉強しながら、結果を恐れず確認のためによくテストを受けている人です。

夢をかたちに。夢は君たちの足元に必ずあります。逃げていったり、儚く消えていったりしません。必ず見つかりますので、しっかり探してください。